

■オーストラリア：電力系統システムがウイルス感染のリスクに晒される

オーストラリアの配電・小売事業者 **Integral Energy** 社のコンピューターネットワークがウイルスに感染、端末 1,000 台以上に被害が及んだほか、電力系統を制御する機器にまで影響を及ぼす可能性があったことが、2009 年 10 月 1 日付の地元紙で報じられた。報道によれば、同社スポークスマンは外部の情報セキュリティ専門家にウイルス拡大防止と駆除を要請したことを認めるとともに、電力供給と業務データには影響がなく、被害は社内情報ネットワークに限定されているという。感染したウイルスは **W32.Virut.CF** で、同社はウイルス対策ソフトを導入していたが防止できなかった。分析したセキュリティコンサルタントによれば、社内情報ネットワークと系統監視制御システムが、料金請求や品質管理を目的としたデータ共有のため頻繁に接続されている等、完全に分離されていなかったことが原因としている。**Integral Energy** 社はニューサウスウェルズ州営の電力会社として発足(現在は私営の配電・小売事業者)、クィーンズランド州を含めた顧客 210 万軒に電力を供給している。